

QSK 福精連

公益社団法人福岡県精神保健福祉会連合会
〒812-0046
福岡県福岡市博多区吉塚本町13-50
電話092-292-0560 FAX092-292-0561
e-mail: fksr1974@fukuseiren.com
ホームページ http://www.fukuseiren.com/
No. 121 令和7年4月1日



反対意見の一方、「障がい者があってもみんなが安心して暮らせる地域であってほしい。そんな街に住みたい」と話される方もいらっしゃいました。同意見です。皆さんの声を、要望を届けていきたいと思

第28回通常総会(予算)が福岡県中小企業振興センターにて開催されました。議長に一木理事を選出し、議事に入りました。第1号議案で令和7年度事業計画と行事計画案、第2号議案で令和7年度予算案、第3号議案で令和7年度資金調達及び設備投資の見込み(予定なし)が提案され質疑応答の後、採択されました。質疑の際には、「県からの電話相談事業費を増額して欲しい」(物価高騰、賃金高騰)、「福祉サービスの利用者負担が結婚後に高額となるのはおかしい」など県への要望を強く訴える声が上がりました。

第2部ではドキュメンタリー映画「不安の正体」精神障害者グループホームと地域の視聴会を行いました。視聴後、「自分たちが事業所を作る際も反対意見があがった。反対を懸念し、事前説明会は持たず開所前に周辺挨拶を行った」など参加者からも厳しい現状が語られました。動画の中では、

反対意見の一方、「障がい者があってもみんなが安心して暮らせる地域であってほしい。そんな街に住みたい」と話される方もいらっしゃいました。同意見です。皆さんの声を、要望を届けていきたいと思

通常総会(予算)3月21日



今回の研修はどちらも大変有意義な内容であり、研修に参加できなかった事業所の皆様にも動画視聴で学んでいただけると幸いです。詳細は、福精連事務局までお問い合わせください。

【感想】ト部様からは、家族支援のきっかけと実践の道のりを熱く語っていただき、精神障がいのある方とその家族への支援について改めて考える機会となりました。とくに、兄弟の会運営サポートでは、「困り感を入り口とせず」、「集まる・つながる場の提供」から「思いの共有」へとつなげていくという、素晴らしい実践をされていました。家族や兄弟という「ピアの立場」ならではの支えあいをサポートする役割について学ばせていただき、私たち事業所委員会のメンバーにも大変良い気付きを与えていただきました。

伊澤様からは、精神科病院から地域へという流れの中で、まだまだ閉鎖的な病院の実情や人権侵害の可能性がある転院や死亡退院があるという、より一層の危機感と人権意識の向上を図っていく必要性があると感じました。また、支援者の役割として病院から地域に移行できるように社会資源の整備が課題であり、事業所委員会においてもグループホームや在宅支援の充実に向けて取り組んでいくことが大切ではないかと考えました。

【研修内容】第一部「家族支援のヒント」理解とつながりとピアサポート」筑後市社会福祉協議会 ト部善行氏

第二部「滝山病院へのアプローチとある精神科病院の現状を知る」全国精神障害者地域生活支援協議会(あみ)役員 伊澤雄一氏

旧優生保護法による強制不妊手術などを受けた方とご家族へ。対象となる方に補償金を支給します。対象 旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた本人及びその配偶者死亡している場合はその遺族(配偶者、子、父母、祖父母、兄弟姉妹、孫又は甥姪) 本人1500万円 配偶者500万円

家族・職員研修会(事業所委員会主催)2月14日

月刊「みんなねっと」を購読しませんか
賛助会費(購読料を含む)個人 年間3,600円
※団体は一部還元があるのでお問い合わせを
郵便振込先 加入者名 みんなねっと
口座番号 00130-0-338317
電話番号 03-6907-9211

賛助会員加入のお願い
令和6年度の賛助会員の募集を行います。皆様のご協力よろしくお願い致します。
年会費:個人 3,000円 団体 10,000円
郵便局振込先 加入名:(公社)福精連
口座番号:01760-7-84332
※福精連への賛助会費・寄付金は確定申告の際の寄付金控除の対象になります。

家族のための相談電話
【相談時間】13時~16時
・月曜日 090 (1366) 7498
・火曜日 080 (3986) 1980
・水曜日 080 (1729) 1950
・木曜日 080 (1729) 1950
・金曜日 080 (1729) 1955
・土・日曜日・祝日 9時~16時 080 (1729) 1955
一人で抱えずお電話ください
※別紙相談電話番号が記載されたチラシを同封しております。

令和6年度賛助会員の皆様
【団体会員】
・株式会社 ちくしの郷・匠
・医療法人 紫陽 ころからクリニック
・医療法人 西江 ころのクリニック
・バナソニック 松丸会
・医療法人 富松記念会 三池病院
・社会福祉法人 ぼっと福祉会
・寿防災工業株式会社
・医療法人 陽山会 丸野クリニック
・油山病院 家族会 あけぼの会
・医療法人 みらい 筑紫野病院
・一般社団法人 ちはやACT
・医療法人 要会 かなめクリニック
・社会福祉法人 福岡あけぼの会 しのめ
・医療法人 松和会 門司松ヶ枝病院
・一般社団法人 Q・A・C・T (下記へつづく)

行事案内
【第1回 理事会】福精連事務局 令和7年5月8日(木)
【決算総会】【第1回 理事会】 令和7年5月23日(金)
福岡県中小企業振興センター302会議室
【家族・職員研修会】 令和7年6月13日(金) オンライン
【第1回 運営委員会】福精連事務局 令和7年7月11日(金)
【家族・職員研修会】 令和7年8月21日(金)
福岡県中小企業振興センター302会議室 講師:青木 聖久氏

令和6年度賛助会員の皆様(続き)
【個人会員】(敬称略・順不同) (令和7年3月末日現在)
・一木 猛 本田 俊恵 辻田 雄一
・石河 定子 井上 曉子 舟越 洋
・鈴木 久子 斉藤 光子 石田 健治
・福田 清隆 佐々木寿美 白石 雄二
・樋口 靖則 萬 忠之 廣津 輝男
・松岡 千代 木原 聡 乙村 朱沙貴
・金子 義郎 犬東 義光 菅野 康子
・永末 雄大 平川 ミドリ 田川 裕二
・伊原 加津代 中里 真一 大平 実男
・榎橋 恭一 坂東 さつき 田原 恭子
・渡辺 美穂 阿部 利民 国房 稔代
・森川 久美子 戸田 俊彦 平山 一雄
・内原 守 岡 幸三郎 山本 由美
・馬場 由紀子 小野 雄史 立山 利博
・富田 義之 後藤 英一郎 原 久美
・松本 國寛 六反 敏裕 川本 茂子
・津村 美沙 古屋 岳治 牧 マリコ
・下川 展弘 下川 富子 隅谷 和生
・野澤 重信 渡邊 千洋 竹原 享
・一ノ瀬 孝行 重富 裕司 井上 純治
・宮本 政智 中間 草太
令和6年度も多くの皆様にご協力いただき感謝申し上げます
令和7年度賛助会員の皆様
・一木 猛 本田 俊恵 伊原 加津代
・石河 定子 鈴木 久子 萬 忠之
・白石 雄二 田川 裕二



この機関紙【福精連】は、共同募金の配分金によって作成されたものです。

【編集】公益社団法人 福岡県精神保健福祉会連合会 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 6F
【発行】QSK九州障害者定期刊行物協会 〒812-0068 福岡市東区社領1丁目12番4号
【年会費】3,000円(購読料含む) 定価100円

スポーツレクリエーション大会

福岡ブロック

福岡県の委託事業である「第26回福岡ブロック合同スポーツ大会」が令和6年9月18日(水)福岡市障がい者スポーツセンターで開催されました。当日は、7事業所、12チームから、当事者87名、ボランティア30名を含む、総勢107名の参加がありました。



競技種目は、昨年に引き続きポッチャを行いました。今年はより実際のルールに近い形で行いましたが、どの試合もレベルの高い手に汗握る熱戦が繰り広げられており、良い投球が決まるたびに、大きな歓声や拍手が起こっていました。

大会結果は、優勝が昨年に引き続き「ぶらっと」が予選から優勝決定戦まで全勝で連覇を達成、準優勝、3位は共に「カフエさくら」から、同事業所の2チームが上位入賞を達成しました。

今回の合同スポーツ大会は、来賓の「福岡県 人づくり・県民生活部スポーツ局スポーツ振興課 主任主事 藤野様」、「福岡市精神保健福祉協議会 清成様」、大会の運営指導や協力をして頂いた「福岡市障がい者スポーツセンター指導員様」、審判をして頂いた「福岡市スポーツ推進委員協議会の皆様」、大会実行委員の皆様、看護師さん、沢山のボランティアの皆様のご協力があり、大きな怪我や事故もなく無事に終了することができ、参加者の皆様、関係者の皆様、誠にありがとうございました。



地域活動支援センターピアひがしセンター長 犬東 良太郎

北九州ブロック

11月1日(金)、飯塚市総合体育館にて、北九州ブロック合同スポーツ大会を開催致しました。当日はあいにくの雨天となりましたが、家族会・事業所10団体、総勢156名の皆様にご参加いただきました。コロナ禍も落ち着き、今回は久しぶりに屋内でのスポーツ大会となりました。



種目は輪投げ、フライングディスク、玉入れの3種目。輪投げの土台は手作り、利用者の皆さんに絵を描いたり手形を押してもらったりして仕上げたものです。大変ご好評を頂き嬉しく思いました。

フライングディスクは初めての方も多くいらっしやうでしたが、皆さん真剣な表情でゴールの輪を目指して投げかけていました。

玉入れは、団体混合チームでの対戦形式にしました。他施設の方とも自然に声を掛け合ったりする場面も見受けられ、交流を深める良い機会になったと思います。

結果は1位はまゆうAチーム、2位スマイル門司Bチーム、3位はまゆうFチーム、ブービー賞は、ひまわりチームとなりました。



新しい綺麗な体育館で快適に過ごせた等、多くの感想を頂くことが出来ました。遠方から参加された皆様、本当にお疲れ様でした。ご参加された皆様のご協力に心より感謝申し上げます。なおみの会共同作業所 施設長 栗原陽一

筑後ブロック

10月25日(金)「第27回福岡連筑後ブロックふれあい大会」を大川市民体育館にて開催しました。



今回の大会は、大川市「木の香らんど」、みやま市「さくらんぼ」、大牟田市「むつごろう作業所」の3事業所が大会運営を担当し、筑後地区の8事業所及び家族会から総勢162名の方々に参加いただきました。

今回の大会は、当事者の皆さんの交流と健康増進(体力づくり)を目的として、参加者の全体を紅白の2つのチームに分かれて、それぞれのチームが競い合うかたちで競技に参加していただきました。

プログラムは、午前の部に玉入れ、パン食い競争、綱引き、デカパン競争、午後の部に作業所・事業所紹介、ウルトラクイズ、最後に恒例となつています炭坑節踊りを参加者全員で踊り、和気あいあいと参加者の皆様の笑顔があふれる大会となりました。



最後に、大会実行委員の皆様、後援のご協力・ご支援をいただきました行政機関、関係機関の皆様をはじめ多くの方々のご協力をいただき無事に大会を終えることが出来ました。また笑顔で皆様にお会いできる日を楽しみにしております。木の香らんど 施設長 上金 光輝

「みんなねっとフォーラム」に参加して

令和7年3月2日 名古屋大学・尾崎紀夫先生のお話を伺いました。夏期先生の仲介でコンボからの依頼「身体合併症の問題についてわかりやすく伝えたい」ということで詳しくお話いただきました。



統合失調症は様々な病気による死亡率が高く平均寿命が短いと、初めに聞いて驚きました。こんなにはっきり分かっているんだと、改めて考えさせられました。しかも未診療。心筋梗塞・脳卒中・感染症・肥満から、糖尿病・睡眠時無呼吸症候群等々。先生のお話のように、受診時に体重測定や血液検査は確かに受けたことがありません。毎回の受診で体重測定は体重計が有れば簡単なことだと思いつけれど、それさえ受けてないのが実情です。クロザピンは血液検査の結果が出ないとお薬を出してもらえませんが、それ以外の精神のお薬にも副作用や他の病気のリスクがあるので、毎回でなくても2〜3ヶ月に一度は血液検査が必要なのだと理解しました。当然ながら初診時の検査は他の病気と同じように血液検査も診断の役に立つこと、高プロラクチン血症との関連性の病気のことも今回のお話で理解しました。

臨床研究は当事者の困りごとからのスタートで社会生活に必要な自動車運転、妊娠出産、社会技能訓練(SST)、認知リハビリテーション、言語セッションと興味深いお話を詳しく教えて頂きました。

精神疾患で病院を退く基準や担当医と話すときの話題など、今後に向けて考えていきたいと思いました。少し先の未来に受診が見えてくるといいと思います。

福岡連理事 森川久美子

※現在、このフォーラムが視聴できます。みんなねっとHPまたは左記を検索ください
<https://youtu.be/KZ94wECsKI>

筑後ブロック一泊研修会 家族会会長・事業所所長会

期日 令和7年1月19〜20日(日・月)
場所 船小屋温泉 ホテル樋口軒
参加者 事業所8ヶ所と家族会

筑後ブロックでは毎年宿泊研修会を開催しています。今回は八女の社会福祉法人ハインツ福祉会の担当により執り行われました。今年は外部講師による講演会形式ではなく各事業所の困りごとや福精連への要望・課題等を各施設間で情報共有する意見交換会をしました。(趣旨・今後の運営に活かしていく) 若く将来有望な事業所所長も多数参加し、生き生きとした雰囲気がかがわれる会となりました。

講演会はティンキング方式の為、どうしても講師の一方的な話が進められがちですが、今回は各事業所が事業所紹介や困りごと課題等を発表、その後、参加者から質問、回答アドバイスと会話がキャチボール方式で、昼の部だけではなく、夜の懇親会まで進んで行く状況でありました。

昭和の時代から求められていた福祉の点と点を線で結び福祉ネットワークを作らなければ地域福祉活動の将来は進展しないであろうとも言われていたものが、今回は共に顔を突き合わせての会話で、点と点が結ばれ線と線とが結ばれネットワークが生じ、これからの若いリーダーによるリーダーシップを期待。明るい福精連の未来を期待できる研修会であったと思ふ会合でありました。

筑後ブロック長 福田 清隆

北九州ブロック家族交流会

1月25日(土)に、北九州ブロック家族交流会を開催しました。福精連のブロック活動費を活用して、初めての試みでどのくらいの参加があるのか不安でしたが、50名定員の会場にご家族の方が48名、アドバイザー2名をお迎えして満席での開催となりました。



アドバイザーには行橋・京都成年後見センターの篠原センター長と、佐藤相談支援専門員をお迎えし、まずは事前にいただいた質問に対して参加している方の意見を聞き、アドバイザーの方にまとめていただく形で始まりました。

事前にいただいた質問は、会員の高齢化問題や民生委員とのかかわり、隠れ患者(引きこもり等)についての、成年後見制度や金銭管理に関する支援や制度について。それぞれの質問に対し、会場からも発言していただき、時には共感の拍手が起こる場面もあり、予定していた2時間があっという間に過ぎていきました。

親の高齢化に伴い、親が一人で担っていた役割を分散させ、障害のある方を守るためにチーム作りをすることで安心して生活できるようになることや、金銭管理にかかわる制度の利用に際して、どの程度ご本人が管理できるのかということや、ご本人の意思を尊重することにならないように注意して選択することがポイントというアドバイスをいただきました。

終了後のアンケートでは、「参加してよかった」「今後も定期的に開催してほしい」「また同じテーマで勉強したい」と概ね好評だったようで安心しました。今回交流の時間を持てなかったことが大きな課題として残りましたが、次回はさらにバージョンアップした会になるよう入念に準備を進めたいと思っています。アドバイザーのお二人からも、「ご家族の熱のこもったお話を聞くことができて、とても良い時間を過ごせました。ぜひまた声をかけてください」と嬉しいお言葉をいただいています。

たくさんのご家族の方にお会いすることができ、直接話ができたことがとても嬉しかった。これからも頑張ろうと改めて思えた交流会でした。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

北九州ブロック長 田原 恭子